

2023年度 早稲田大学大学院教育学研究科

高度教職実践専攻入学試験

(一般入試(前期日程):筆記試験(教職教養))

問	題	用	紙
---	---	---	---

注 意 事 項

1. 問題冊子および解答用紙は、試験開始の指示があるまで開かないこと。
2. 問題は、2～4ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 受験番号および氏名は、試験が開始されてから、解答用紙の所定欄に正確に記入すること。なお、解答用紙が複数枚ある場合には、それぞれの所定欄に正確に記入すること。
受験番号は以下の例のとおり、数字で記入すること。

(例) 11001 番 ⇒

万	千	百	十	一
1	1	0	0	1

4. 解答はすべて解答用紙の所定欄にHBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
5. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答を止め、筆記具を置くこと。終了の指示に従わずに解答を続けた場合は、答案の全てを無効とするので注意すること。
6. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。
7. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。

問1. 以下の文章は、平成19年6月の「学校教育法」改正にともなった学校評価の法整備等に関する文章である。(①)～(③)に当てはまる語句を解答欄に書きなさい。

学校評価とは、学校の教育活動やその他の学校運営の状況について評価を行い、その結果に基づき学校運営の改善を図るために必要な措置を講じ、教育水準の向上のために実施されるものである。(①) 第66条では、「学校の教育活動その他の学校運営の状況について、自ら評価を行いその結果を(②)するものとする。」と示されている。第67条では「保護者その他当該校の関係者による評価を行い、その結果を(②)するよう努めるものとする。」と示されている。平成22年の文部科学省「学校評価ガイドライン」から(③)が示されている。

問2. 以下の文章の空欄(①)～(⑤)に入る最も適した語句を解答欄に書きなさい。

(1) 1941年、(①) 令が施行され、全ての小学校は(①) に改められた。(①) は、「皇国ノ道ニ則リ」「国民ノ基礎的(②)ヲ為ス」ことを目的とするものであった。また、義務教育年限は初等科(③) 年、高等科2年とされたが、戦局の悪化により実現しなかった。

(2) 1887年に来日した(④) は、帝国大学でドイツ語や教育学を教え、多くの教育学者を育てた。1890年代の日本では、(④) の教えを受けた谷本富、湯原元一らによって(⑤) 派の五段階教授法が紹介されたが、その普及の過程においては形式的な導入が中心となり、教授法の注入主義的性格を著しく強めることとなった。

問3. 以下の文章は、「第3次学校安全の推進に関する計画の策定について(答申)」中央教育審議会(令和4年2月7日)の一節である。空欄(①)～(③)に入る最も適した語句を解答欄に書きなさい。

学校における(①) の目標は、日常生活全般における安全確保のために必要な事項を実践的に理解し、自他の(②) を基盤として、生涯を通じて安全な生活を送る基礎を培うとともに、進んで安全で安心な(③) に参加し貢献できるような資質・能力を育成することを目指すものである。

問4. 以下の3つの問いについて、それぞれに当てはまる記号を解答欄に書きなさい。

(1) 以下の人格検査の名前として、適切なものを選びなさい。

「日常生活のさまざまな場面を描いた24枚のカードからなる。カードには、2人の登場人物が描かれており、左側の人物には台詞が書かれており、右側の人物は吹き出しのみで空白になっている。被検査者は、右側の人物が取る反応(台詞)を想像して回答する。この回答から、フラストレーション場面でどのような反応を示しやすいかを確認し、現実場面における適応性や攻撃性を分析するための検査である。」

- ア P-Fスタディ
- イ SCT(文章完成法)
- ウ TAT(主題統覚検査)
- エ バウムテスト
- オ ロールシャッハテスト

(2) 近年、注目されている「実行機能」についての説明で、誤りのあるものを選びなさい。

- ア 目標を立て、達成しようとする意思や、そのための計画を立てる力が含まれる。
- イ 提出物を期限までに出せない場合、実行機能が弱いことが想定されるため、医師の診断を勧め、課題は免除する必要がある。
- ウ やる時に過去の似た経験を思い出し、方法を決めたり、より効率的な方法に替えたりする力も含まれる。
- エ 誘惑されそうな刺激を排除したり、脱線しそうな自分に気づいて、注意を切り替えたりする機能もある。
- オ 実行機能が弱い場合、ToDoリストやリマインダーを使うことで補うのもよい。

(3) 児童虐待についての説明で、誤りのあるものを選びなさい。

- ア 虐待の種類には身体的虐待、性的虐待、ネグレクト、心理的虐待がある。
- イ 主たる虐待者は母親である。
- ウ 被虐待児の年齢は3歳以下が最も多く、次いで小学生である。
- エ 母親が被虐待体験を有することは、虐待の危険因子の一つである。
- オ 虐待の体験は、後年の対人関係の問題や精神障害の発生に関与する。

問5. 以下の（A）～（D）のそれぞれの領域について、いずれかの語句を選び、その説明を解答欄に書きなさい。なお、解答用紙の該当欄に、選んだ語句をそれぞれ記入すること。

領域（A）（教育原理）

- ☐ 就学援助制度
- ☐ アカウンタビリティ

領域（B）（日本教育史）

- ☐ 北方性教育運動（北方教育）
- ☐ 五大改革指令（マッカーサー元帥による）

領域（C）（教育法規）

- ☐ カリキュラム・マネジメント
- ☐ インクルーシブ教育システム

領域（D）（教育心理）

- ☐ 語用論障害
- ☐ 正常化バイアス

2023年度 早稲田大学大学院教育学研究科高度教職実践専攻入学試験
(一般入試 (前期日程) : 筆記試験 (教職教養) 解答用紙)

受験番号						採点欄
氏名						

問 1	①	②	③			
問 2	①	②	③	④	⑤	
問 3	①	②	③			
問 4	(1)	(2)	(3)			

この右の枠内には、何も書き込まないでください。

問 5						
領域 (A) 選択語句名						
説明						
領域 (B) 選択語句名						
説明						
領域 (C) 選択語句名						
説明						
領域 (D) 選択語句名						
説明						